

徴税人ザアカイ

マリノ E. デハクト Jr.

私たちは面白いことがあれば、自然に見たくなるものです。例えば、好きな映画スターとか、立派な選手とか、尊敬されている政治家など、その人たちが公の場に現れると聞くと、見ようとする人が多くても実際に見たい気持ちになるでしょう。そしてその人に非常に強い興味があれば、その人がよく見えるような良い場所を探してそこで待つようにするでしょう。私たち、キリスト者としてその有名な人にあたるのはイエス様です。イエス様に対してそういう熱心さを私たちは待っているでしょうか？ ルカの福音書の19章1～10節はイエス様とザアカイとの出会いの話です。ザアカイは徴税人の頭なので、お金持ちですが同じイスラエル人に嫌われていたのです。彼はローマ帝国のために働いていたので裏切り者だと見られていたのです。彼はイエス様に出会いたかったのですが勇気がなかったのです。でもそのためらいの気持ちがあっても彼はイエス様を見ることができるよう頑張りました。聖書にも書いてある通り、彼は背が低く、イエス様を簡単に見ることができませんでした。イエス様に従う人たちが多くてイエス様が道を通る時、ザアカイは一番前に立たないと見られないほど小さかったのです。先に言った通り彼はイスラエル人同志から嫌われていたので他の人に手助けを頼むのは恥ずかしかったのでしょう。そのため彼はイエス様を見ることができるよういちじく桑の木に登りました。不思議なことにイエス様はザアカイを呼んで彼の家に泊まることにするとおっしゃいました。周りの人たちはザアカイがどんな男か知っていたので文句を言いました。この場面をよく考えるとイエス様が罪人に対して憐れみ深いことが明らかになります。ザアカイもそのイエス様の愛を感じて悔い改めました。彼はイエス様の前で「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々にほどこします。また、私が誰かから何かをだまし取ったら、それを四倍にして返します。」と告白しました。私たちはたびたび罪を犯しています。時には、自分はもうイエス様に顔を合わせることはふさわしくないと思うかもしれません。だから、教会に来るのが嫌になってしまう時が来るかもしれません。その時このイエス様とザアカイの場面を思い出しましょう。イエス様が私たち一人一人を大切にしているからです。周りの人たちは私たちに対して批判を下すかもしれませんが、イエス様はそういうことは絶対なさいません。もちろん私たちもザアカイと同じように努力する必要があります。そして、そのイエス様に会いたい気持ちを大切にしなければならぬと思います。秘跡によって私たちはザアカイと同じようにイエス様の憐れみを体験することができます。特に赦しの秘跡を受ける時、

神様の憐れみと愛をいただくことができるから、もっと赦しの秘跡を受けましょう。